

「術後再発の EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対する EGFR チロシンキナーゼ阻害薬の効果について」の検討について

非小細胞肺癌は抗がん剤や放射線治療に対する反応性は期待できますが、増悪・再発の頻度が高く、予後の悪い病気です。また、がんが発見された時点で他臓器に転移を認める進行例が多いです。今回、上皮成長因子受容体 (EGFR) 遺伝子変異が陽性で診断時から進行非小細胞肺癌の患者さん、または術後再発患者さんで当院にて 2010 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日の期間で EGFR チロシンキナーゼ阻害薬 (EGFR-TKI) による抗がん剤療法を受けられた患者さんの臨床情報や検査データを再解析する研究を計画しました。この研究は、抗がん剤である EGFR-TKI の効果が、診断時より進行非小細胞肺癌の患者さんと術後再発患者さんの間で異なるのか否かを調べるものです。また、術後再発の患者さんを対象に、保管されている手術により得られた肺切除検体を用いて新たに PD-L1 たんぱくの発現を調べ、EGFR-TKI の効果との関係性についても検討します。もし、本研究に関してご質問などございましたら、下記研究事務局までご連絡ください。あなたから得られた全ての臨床情報は厳重に保管され、第三者があなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。また、本研究に参加を希望されない場合も、通常の診療には全く不利益はありません。

ませんので、下記研究事務局へご連絡下さい。なお、本ポスター提示期間は 2017 年 9 月 30 日までと致します。

北里大学病院呼吸器内科 いがわ さとし ますだ のりゆき
井川 聡、益田 典幸

〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

TEL : 042-778-8506 FAX : 042-778-6412